

日 ASEAN エネルギー大臣特別会合における共同声明(暫定訳)

2021年6月21日

“ASEANにおけるエネルギーtransition実現のためのパートナーシップ強化”

1. 2021年6月21日、日 ASEAN エネルギー大臣特別会合(以下、会合)が、ASEAN 事務局の主催によりバーチャル形式で開催された。会合では、ベトナムのグエン・ホン・ジエン商工大臣が議長を務め、日本の梶山弘志経済産業大臣が共同議長を務めた。また会合には、ASEAN 事務総長も出席した。
2. 会合では、COVID-19 パンデミックによる前例のない課題を踏まえ、パンデミック後の持続可能な回復に取り組むことの緊急性を認識し、持続可能な発展に向けたエネルギーtransitionの重要性について確認した。
3. 会合では、今後5年間の地域のエネルギー協力アジェンダの枠組みとして、また、持続可能な ASEAN のエネルギーの未来に向けた長期的な取り組みとして、「より強力なイノベーションと協力を通じたエネルギーtransitionの加速とエネルギー強靱性の強化」をサブテーマとした「ASEAN エネルギー協力行動計画(APAEC)2016-2025 のフェーズ II: 2021-2025」を強く認識した。
4. 会合では、パートナー国や国際機関の強い関与のもと、APAEC フェーズ II の枠組みの下で ASEAN のエネルギー協力の関心を促進かつ前進させる上で、ASEAN エネルギーセンター(ACE)が重要な役割を果たしていることを認識し、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)を含む、ASEAN と日本のさらなる協力を歓迎した。
5. 会合では、ASEAN 加盟国が経済発展の様々な段階にあり、地理的条件が異なっていることを認識した。それゆえ、エネルギーtransitionは、各国ごとの事情を考慮しなければならない。また、会合では、各国の事情に基づいて、エネルギー安全保障、経済競争力、環境持続性に対処する、各国それぞれのエネルギー政策に留意した。
6. 会合では、多国間の電力取引の拡大、ASEAN における共同ガス市場の開発、クリーンコールテクノロジー(CCT)と二酸化炭素回収・利用・貯蔵(CCUS)の役割の最適化、様々な分野における省エネルギー対策の強化、再生可能エネルギー展開の加速化、エネルギーtransitionとレジリエンスのための地域のエネルギー政策及び計画の推進、発電のための原子力エネ

ルギーについての人材育成・能力開発などを含む、しかしこれらに限定されないエネルギー・トランジション戦略を認識した。

7. 会合では、あらゆるエネルギー源・技術・情報・専門知識、研究開発やイノベーションの促進を通じたASEAN内のエネルギー需要増加に対応するための関連政策、CCT・CCUS・水素・バッテリー及びエネルギー貯蔵・民生用原子力エネルギーといった新しい技術や先端技術の技術移転、並びに、ASEAN地域の持続可能性に向けたグリーン投資のための環境整備について改善する必要性に留意した。

8. 会合では、ASEANにおける効果的なエネルギー・トランジションに向けた取り組みが、APAEC フェーズ II(2021-2025)の目標を達成するだけでなく、世界の温室効果ガス排出量の削減にも大きく貢献することに留意した。加えて、地域のグリーン成長と持続可能な発展を促進するという観点から、部門横断的な協力の促進に期待を示した。

9. 会合では、地域におけるエネルギー・トランジションの実現を支援するための適切な資金調達の実現を確認した。会合では、日本から表明された「アジア・エネルギー・トランジション・イニシアチブ(AETI)」について歓迎した。AETIには、100億米ドルのファイナンス支援、技術開発・展開支援、様々な育成ワークショップや調査・報告書を通じた人材育成、提案されたアジア CCUS ネットワークといった活動での知見共有、「アジア・エネルギー・トランジション・ファイナンス」コンセプトの詳細な検討など、ASEANのエネルギー・トランジションに対する幅広い支援が含まれる。会合では、2021年10月にアジアグリーン成長パートナーシップ閣僚会合を開催するという日本のイニシアチブに留意した。